

# にしっこ 西っ子のみなさんへ 121 11月22日

今日11月22日は、「ペットたちに感謝する日」です。犬の鳴き声「ワン・ワン（11）」と猫の鳴き声「ニャー・ニャー（22）」にちなんで決められました。

ところで、犬や猫はいつから人間と共同生活をするようになったのでしょうか。犬も猫も、もともとは野生の動物だったはずですが。



犬が飼われるようになったのは1万5000年前ごろだと言われています。イスラエルの1万2000年前の地層から犬が人間とともに埋葬された遺跡が発掘されています。犬は集団生活をする性質があるため人に慣れやすく、狩猟の際に獲物を追いかけてさせたり捕まえさせたりするために飼い始めたと考えられます。また、番犬としてのはたらきもあり、人間が安心して夜寝られるようになったのは犬のおかげ。人間が犬と仲良くなれなかったら、ここまで進化できなかったのではないかという説を唱える人もいます。

日本においても、縄文遺跡から丁寧に埋葬された犬の骨が見つかり、狩猟生活をしていた縄文人が犬を大切に扱っていたことが分かります。日本最古の歴史書『日本書紀』には、犬は神として登場しているので、人間にとって大切な存在であったことが分かります。

猫はどうでしょうか。飼われるようになったのは、人が穀物を栽培するようになってからだと考えられています。ネズミに大切な穀物を食べられてしまわないように、ネズミ退治のために飼い始めたと考えられます。エジプトでは紀元前4000年の遺跡から猫の骨が発掘されており、このころには飼われていたことが分かります。

日本の歴史に登場するのは奈良時代です。中国から入ってきた大切な経典がネズミにかじられて穴を開けられる被害に遭うのを避けるため猫も一緒に連れてこられたようです。平安時代の宇多天皇は黒猫を飼っており、猫の様子が細かく描き写した書物を残しています。

現在は、上のような実用的な役割というより、人間の心の癒しのために飼われている面が大きいと思いますが、日本では年間約43,000頭（平成30年）もの犬猫が殺処分されています。ドイツやフランスなどの動物愛護先進国ではそのようなことはほとんどありません。日本はヨーロッパ諸国に比べて、動物愛護に関する整備や規制が弱いと言われます。飼うからには、昔の人々のように大切に扱いたいものです。ペットを飼っている人は、しっかり責任をもって飼うようお願いします。